

遊行かぶきの金字塔

# 一遍聖絵

作・演出 白石 征  
音楽 J・A・シーザー  
説経節 政太夫

捨てる、捨てる！  
ふり向くな！ 後ろには夢がない。  
日本人の魂の原像を描く国宝絵巻の秀作、  
ついにご当地藤沢にて演劇化！

わが屍は野に捨て  
獣に施すべし



遊行舎演劇公演

Tel&FAX 0466-34-9841

遊行かぶき実行委員会

遊行フォーラム2019

写真協力 遊行寺宝物館

会場 藤沢市湘南台文化センター 市民シアター

Tel 0466-45-1550

助成 芸術文化振興基金  
神奈川県文化芸術団体事業

後援 藤沢市  
藤沢商工会議所  
(公社) 藤沢市観光協会  
(公社) 藤沢商店会連合会  
(一社) 藤沢青年会議所  
(株) ジェイコム湘南  
レディオ湘南

チケット取扱い

有隣堂藤沢店 0466-26-1411(代)  
2階サービスコーナー  
湘南台文華堂 0466-43-0130  
たらば書房(鎌倉) 0467-22-2492  
長谷川楽器店駅前センター(茅ヶ崎) 0467-85-9835  
湘南台市民シアター 0466-45-1550  
9:00~17:00 休館日/月曜日・祝日の翌日

※当日券は会場にて発売します  
※お問い合わせは必ず主催者元へ電話して下さい

3月8日(金) 午後6時開演  
9日(土) 午後3時開演  
10日(日) 午後1時 シンポジウム  
午後3時開演

※開場は開演の30分前

料金 前売 2,800円 大学生 2,000円  
当日 3,000円 中高生 1,000円

# 一遍聖絵



心に安堵のない幸せは、束の間の夢、

無常の風に吹き消されてしまうのだ。

### キャスト

青江 薫  
花岡雪花  
河野真弓  
御法川真弓  
唐沢宏史  
関陽士郎  
古屋友樹  
綾小路 俊  
真上沙剣  
小山田幸雄  
二宮 恭  
清水友美  
渡辺 晃  
塚本映利奈  
今出川泰彦

説経節 政太夫



特別シンポジウム (入場無料)

## 一遍聖絵と芸能

藤沢文化のルーツをめぐって

パネラー 高野修 三上晴夫 白石征 新戸雅章

講師が、当日変更になる場合があります。予め御了承ください。

三月一日(日) 午後一時より

### 協力

テラヤマ・ワールド  
演劇実験室◎万有引力  
踊民偶  
阿部照義  
三上晴夫  
原田光  
Gセブン  
松本邦裕  
猪野修治  
市川嘉紀  
相原るり子

### スタッフ

作・演出 白石 征  
音楽 J・A・シーザー  
振付 三上宥起夫  
花柳輔礼乃  
小粥新一  
曾我 傑  
花柳輔礼乃  
水島 孝  
清水義幸  
増田隆子

運営 河野真弓  
進行 花岡雪花  
広報 内田洋司  
三津男  
市川勝典  
新戸雅章  
矢野彰博  
山本雅博  
村上桂子

美術 河野真弓  
制作 花岡雪花  
三津男  
市川勝典  
新戸雅章  
矢野彰博  
山本雅博  
村上桂子

遊行かぶきの  
感動を、もう一度！

山口昌男 (文化人類学)

中世芸能の神話的記憶をとどめる藤沢は、一遍の踊り念仏をはじめ、中世絵巻「一遍聖絵」の世界がまざまざと感じられる魅力ある街である。

遊行かぶきは、この十数年この地で、地域発信の地霊の演劇として、すでに多くの人々に感動を与え続けている。

佐江衆一 (作家)

私は舞台を観て、強く心を博たれた。遊行かぶきによる「一遍聖絵」わが屍は野に捨て、獣に施すべし」は重層する時間と空間の手法で、私たちが七百年前の一遍時衆が生きた中世へといざない、その光と影を体現させてくれる。



絵 鳥海青児

齋藤慎爾 (俳人・評論家)

遊行かぶきを見終えたあと、遊行寺の大門をくぐり、駅への道を辿りながら、なお私は突き上げてくる感動の余韻に全身を委ねていた。

あの夕べ、本堂の畳の上に足を投げ出し、遊女小萩となった照手と道行をともしながら、私たちは私たちの罪穢を祓い、苦悩を癒す幻想の地に誘われ出ていたのだ。

遊行かぶきの絶唱！  
夢幻のクライマックス

捨てろ、捨てろ！

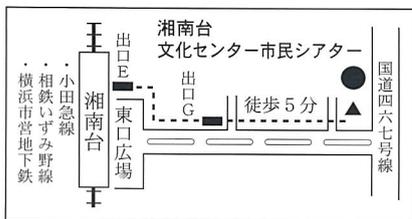
ふり向くな！ 後ろには夢がない。来襲する蒙古の大軍、踊り狂う念仏者の群れ、激動する時代に、忽然とあらわれ、巷の乞食遊行に身をまかせた一遍上人の孤独な、そして不転の戦いを描いたのが、この遊行かぶき「一遍聖絵」です。

本作は、二〇〇二年、遊行かぶきの第三弾として初演、以来三度の公演を遊行寺本堂において続けてきました。そして今回、各方面からの相次ぐ要望に背を押されて、実に十四年ぶりの公演となったものです。

物語は説経節の「石童丸」が導入され、一遍の家族の問題にも照明をあてられています。家族の解体、とりわけ哀切な父子の別れは涙を誘い、有名な藤沢片瀬の浜での踊り念仏などとともにハイライトとして光彩を放っています。

そしてやがて、無常を生きぬいた一遍の孤独な魂が辿りついたのが、弥勒菩薩の化身として顕われる中将姫との聖なるめぐり逢いだつたのです。

これこそは、遊行かぶきならではの夢幻に満ちた感動的なクライマックスといえるでしょう。



### お問い合わせ

- 遊行舎  
Tel&FAX 0466-34-9841
- 遊行かぶき実行委員会  
Tel&FAX 0463-68-9647  
携帯 080-5065-3267
- 湘南台文化センター市民シアター  
Tel 0466-45-1550
- ホームページ  
<http://plaza16.mbn.or.jp/~yugyosya/>